

「肺癌術後脳梗塞発症例における臨床的特徴の解析」に関する研究

1. 研究の対象

2009 年～2024 年に当院や、大阪大学呼吸器外科関連施設臨床試験グループ（TSSGO）に参加する施設において肺癌手術を受けた患者のうち、術後 30 日以内に脳梗塞を発症された方。

2. 研究目的・方法

肺癌の手術後に発症する脳梗塞の症状のその後の経過や特徴を詳しく調べることを目的としています。該当施設で肺癌の手術後に脳梗塞を発症された患者さんのその後の症状・経過の診療情報を収集し、解析します。

研究期間は研究機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日を予定しています。

利用又は提供を開始する予定日は 2025 年 4 月を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

該当患者さんの肺癌手術情報（術式等）、脳梗塞発症日とその後の脳梗塞に対する治療内容・経過等の情報をカルテから収集し、また頭部画像検査のデータも集めて解析します。

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。また特定の関係者がアクセスする場合でも患者さんの個人情報とは明かされず、保護された状態です。

5. 研究組織

研究代表機関：

大阪大学医学部附属病院呼吸器外科学 狩野 孝， 永田 秀樹

共同研究機関：

国立病院機構大阪医療センター 高見 康二

八尾市立病院 桃實 徹

国立病院機構近畿中央呼吸器センター 尹 亨彦

大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 門田 嘉久

大阪国際がんセンター 岡見 次郎

大阪急性期・総合医療センター 船越 康信

国立病院機構大阪刀根山医療センター 奥村 明之進， 竹内 幸康

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 岡見 次郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 岡見 次郎

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学助教 狩野 孝